

死  
死  
(しょうじ)  
の  
古  
海  
(しょうじ)  
と  
ありま  
ります。  
（親鸞聖人の晩年に  
られた多くの七五調のうた）  
には生  
とあります。

(前略)  
わたくしももう足掛け七年、嫁やみな  
さんのにお世話をかけつけの「寝起き  
り病人」でございます。  
(中略)  
はじまりは、「おんなの癌」というこ  
とで大手術をしてもらったのが始まりで  
した。  
そのあと三・四へん入院したり家へ帰っ  
たりしているうちに手足からだが動かな  
くなってしまいました。それからが七年  
でござります。

一生、やっぱり女の身の定めを生きさせ  
ていただいているように思います。  
子を六人も産んで育てて、そのうちに  
は勤めに出ながら百姓もやって、そうし  
て老いて、女の病を苦しんで、女を死ん  
で行く。そういう一生を生きてきて、年  
貢のおさめどきが、それが今だと思つて  
おります。

**生死の苦海**  
坊守がこうして自宅療養  
を続けさせていただいて  
いますと、いろんな沢山  
の方々から、本当にこころ  
のこもつたお見舞いの便  
りをいただきます。その  
一つです。

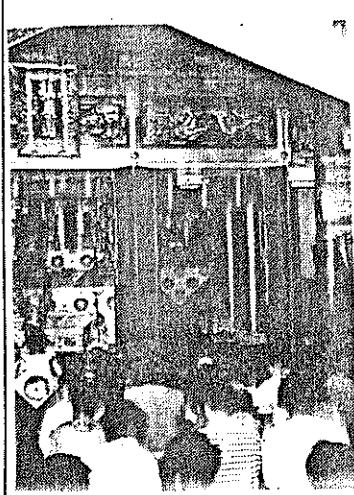
(中略)  
生死の苦海ほとりなし  
久しう沈めるわれらをば 弥陀  
だ弘誓の船のみぞ 乗  
せてかならず渡しける。  
この「おんなわれら」がおすべいのお  
めあてであつたと、いまごろ思わせて  
頂いている次第です。

**勝林寺**

すが、女のいのちを生きて女に死んでゆ  
く「女の一生」を、わたしは苦しみばかり  
であったとは思いません。子を産んだ  
とき、子供を育てる間には、女のしあわ  
せいっぱいございました。そこを生き  
てきて今になりました。

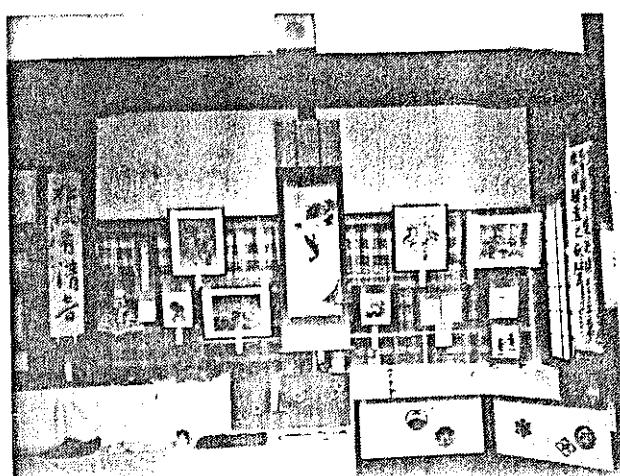
樂と苦、苦しみとしあわせとは、ほん  
とうは背中あわせでありました。

ご開山様は、「生死の苦海 ほとりな  
し」とおっしゃいますが、限りあるつか  
の間の七〇年を振り返ってみますと、本  
当に女の生死は、ほとりなく果てしない  
生死の苦海であったと、わたしは今実感  
しているのでございます。



(後略)

七年おんなを病んで、病んでも病んで  
も、人様にご親切にしていただいても、  
ごめんなさい出るのは恨みと愚痴ばかり  
でござります。その「われらをば」乗せ  
て必ず救い取るとはたらいてくださる如  
來さまは、ほんとうにほんとうに「生死  
の苦海」をわたしてくださる誓いのおお  
船でございます。



## 平成2年度 勝林寺

## 仏教婦人会総会おわる

会計	副会長	会員
事務局	藤川 幸枝	龜井 幸子
	斎藤 立恵	岸下 良子
	菊美 昌子	富嶋 美重子
	貴恵 幸子	生田 良子

三十日	三十一日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日	二十五日	二十四日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	十八日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	一日
江) 教区企画推進室会議	山陰教区連研研究会 (松)	但馬ブロック総代研修会	「みのりを聞く会」	連研中央教修 (本願)	子供研修会	宮嶋喜代志氏宅法事	成田保氏宅法事	横山弘三氏宅法事	町内盆参り・中山隆雄氏宅	水島元三氏宅初盆・藤田雄	藏氏宅初盆・亀井孝氏宅初	初盆	和昭氏宅初盆・永井淳氏宅	岩出酒一郎氏宅初盆・岩出	初盆	生田善一氏宅初盆	岩出酒一郎氏宅初盆・岩出	初盆	斎藤さかえ氏宅初盆	玉日会定例・坪木信義氏宅	初盆・生田善一氏宅初盆	正法寺追悼会・立脇晃氏宅	建墓式	千血蘭分皿△云戦汎	老白追悼會法事	生死の苦海ほとりなし	(中略)
同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ

8月8日

午後一時より法要

## 追悼法要へ参詣を

「お盆」のいわれを説いたお経の中にある目蓮さまの話はあまりにも有名です。

母親は、子供のためにいろいろ欲の火をもやし、その火でわが身をやきながら子供を育てるのです。母だけではありません。母は餓鬼道から救われたといふことです。母親は、子供のためにはなにかでも育てられたのです。なかんずく今の平和は、あの戦争のなごとを忘れてはなりません。

目蓮さまはお釈迦様の弟子のうちで恵第一の偉い方でした。あるときふと亡くなつたお母様を懐かしく思い、その行道におちている母を発見して目蓮は驚きました。餓鬼道というものは欲望によつて我が身を焼かれる世界です。なぜあの優しかった母が餓鬼などに落ちねばならないのでしょうか。目蓮さまはお釈迦さまにたすけを求めました。お釈迦様の教えられたように如来さまと人々とを供養するなど、母は餓鬼道から救われたといふこと

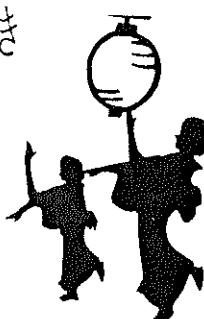
6、鍋(厚鍋)に蓋をして水分のなくならいでたける。  
5、まぜて竹の皮に包む。アルミ箔を適当に切って包んでもよい。  
4、蒸器で10分くらい蒸す。出来上が

3、2の中にもち米(前夜からつけておき調理1時間前にザルにあげておく)を入れて混ぜる。

2、中

材料  
 ①もち米 4c  
 ②竹の子 100g  
 ③玉し椎茸 4(みじん切り)  
 ④にんじん 1~1本半(みじん切り)  
 ⑤かしわ(合いびき) ミニチ 100g  
 調理 1c 固形コンソメ2)と調味料(砂糖小さじ1 酒大さじ1~2杯 こしよ)

## 中華ちら焼き



戦没者ご遺族はじめご門徒皆様の参詣をご案内申し上げます。

八月八日 午後一時より  
 戦没者追悼の  
 お盆会 (おぼんえ)

八月はお盆。八月は原爆が落ちてたくさんの人が焼かれた月。八月はたくさんの方々へ思いを致し、いのちの貴さをかえりみさせていただく法会(ほうえ)です。

「お盆」は、私の命を支え育んでくださいた方々へ思いを致し、いのちの貴さをかえりみさせていただく法会(ほうえ)です。

ひょうごきょうくおんどうぼうそうけつしゅうたいかい  
 兵庫教区御同朋総結集大会

## 参加要項

大會名／兵庫教区御同朋総結集大会

目的／御同朋の総結集をはかり、もって門信徒会運動・同朋運動を推進することを目的とする。

テーマ／御同朋の社会をめざして

主催／兵庫教区基幹運動推進委員会

期日／1990(平成2)年11月7日(水曜日)

会場／神戸ポートアイランドホール  
(通称 ワールド記念ホール)

参加者数／7,000名

参加費／1名 3,000円  
(資料、記念誌、記念品、昼食、他)

持参品／式章、念珠

申込／各寺へ参加費を添えて、7月20日までにお申し込み下さい。

## 大会プログラム

9:30	受付
10:30	開会式 久堀 弘義先生
11:00	ご法話 西池 哲俊先生
11:20	問題提起(スライド放映) 高石ともやの歌とかたり
12:00	昼食
13:00	アトラクション 高石ともやの歌とかたり
13:50	シンポジウム 本願寺勤学 武邑 尚邦先生 大阪市立大学教授 村越 末男先生 龍谷大学教授 福間 光超先生 司会 西脇 正文先生
15:10	閉会式・解散

シンセサイザー奏者 永江 雅俊先生

## 大会の願い

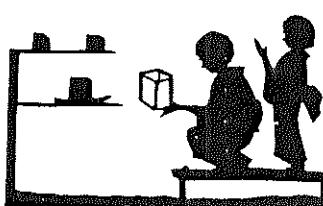
私たちは お念佛をいのちとしてともに生きる 御同朋です

私たちは その喜びから つねにご報謝の日暮らしと 互いにたすけあい 差別を克服し 平和を願う念佛者です

このたび開かれる兵庫教区御同朋総結集大会は 浄土真宗の門信徒一同が集い 御同朋の社会をめざして 力強い第一歩を ふみ出す大会です

あなたも是非 ご参加ください  
心より お待ちしています

## 御同朋の社会をめざして



勝林寺への出席割り当ては 1人です。なるべく早めに申し込んでください。組と寺からの補助がありますから自己負担は三千円程度の見込みです。